

医療センター受変電設備改修工事

図面リスト					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	《 意匠図 》		《 電気設備図 》		
A-01	表紙・図面リスト	E-01	電気設備工事特記仕様書 1		
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	E-02	電気設備工事特記仕様書 2		
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	E-03	電気設備工事特記仕様書 3		
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	E-04	電気設備工事特記仕様書 4		
A-05	附近見取図・配置図	E-05	附近見取図・配置図		
A-06	1階平面図	E-06	高圧受変電設備(改修) 1		
A-07	平面詳細図(改修)	E-07	高圧受変電設備(改修) 2		
A-08	平面詳細図(撤去)	E-08	高圧受変電設備(改修) 3		
A-09	部分詳細図 1	E-09	配置図(撤去)		
A-10	部分詳細図 2	E-10	高圧受変電設備(撤去)		
A-11	仮設計画図	E-11	仮設計画 1階平面図		
		E-12	仮設計画 2階平面図		

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (5.3.5) ○図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1) 柱及び梁の筋にD29以上の使用の有無 ○無し ・有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートで土に接する部分 ・無し ・有り 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し ・有り 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm	① 気乾単位容積質量 ○普通コンクリート ・2.3t/m ³ 程度 (6.2.3) ・軽量コンクリート (6.10.1) 7 軽量コンクリート (6.10.1) 種類 ・1種 ・2種 適用箇所 ・図示による () 8 寒中コンクリート (6.11.1) 適用期間 ・図示による () ・積算温度を基に定める場合 ・監督職員の指示による。 9 暑中コンクリート (6.12.2) 構造体強度補正値 ※6N/dm 10 マスコンクリート (6.2.1)(6.13.1) 適用箇所 ・図示による () セメントの種類 (6.13.2) ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] ・普通ポルトランドセメントに標準仕様書6.13.2(b) (2)の混和材を混合したもの 混和材料 (6.13.2) ・混和剤の種類 混和剤の種類 ※JIS A 6204Iに適合するAE減水剤または高性能AE減水剤 スランブ (6.13.2) ※15cm 設計基準強度 (6.14.1) ※18 (N/mm ²) スランブ (6.14.1) ※15cm 又は 18cm 適用箇所 (6.2.1)(6.14.1) ※標準仕様書6.14.1(e)による箇所 ・図示による () 12 流動化コンクリート (6.2.1)(6.15.1) 適用箇所 ・図示による () 13 ひび割れ誘発目地 打継目地 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3) 目地寸法 ・標準仕様書9.7.3による 間隔、位置、形状 (6.8.2) ・図示による () 14 コンクリートの仕上り (6.2.5) 部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 ・標準仕様書表6.2.3による 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.3) 種 別 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 15 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.2) 打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm 打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm 16 型枠 (6.8.3) せき板の材料及び厚さ ・合板 (※12mm) 断熱材の取用 (6.8.3) ・行わない ・行う MCR工法用シート (6.8.3) ・用いる 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による () ・用いない (6.8.3) スリーブの材質 (6.8.3) ※標準仕様書6.8.3(i) (2) (i) から (iv) による 17 コンクリートの単位水量測定 実施要領 ・図示による (構造関係共通図 (構造関係共通事項) 構-4 施工方法及び計画書関連等コンクリートの単位重量測定) ・	② 鋼材 材質等 (8.2.8) 種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格等 ・ JIS規格による ・ JIS規格による ・ JIS規格による 4 高力ボルト (8.1.6)(8.2.9)(8.13.2) ボルトの区分 [8.1.6][8.2.9][8.13.2] ・トルシア形高力ボルト セットの種類 ・2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト セットの種類 ・2種 (F10T) 高力ボルトの径 ・図示による () ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による () すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・図示による () ボルト及びナットの材料 (8.1.6)(7.2.3) ・標準仕様書 表7.2.3(i)による 産金 ・標準仕様書 表7.2.3(d)による ボルトの径 ・図示による () ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による () 6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (8.1.6)(8.2.9)(8.12.7)(7.12.4) セットの種類 [8.1.6][8.2.9][8.12.7](7.12.4) ・1種 (F81相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・図示による () 溶融亜鉛めっき高力ボルトのメッキ前孔径 ・審査 (評定又は大臣認定) を受けた内容による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による () 摩擦面の処理 (7.2.4)(7.10.3) ・プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) ・プラスト処理以外の特別な処理方法 ・図示による () すべり耐力の確認方法 ※ すべり係数試験 試験方法等 ・図示による () 7 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3) 適用 ・構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B 1220又はJIS 13-2004) ・ ABR400 ・ ABR490 形状、寸法 ・図示による () ・建方用アンカーボルト 種類 ・ S5400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級並びに仕上げの程度 ※ 標準仕様書 表7.2.3による 形状、寸法 ・図示による () ③ 溶接材料 (8.2.10) 溶接材料 [8.2.10] ○改修標準仕様書8.2.10(a) (b)による ・図示による () 9 ターンバックル (7.2.6) 種類 建築用ターンバックル ※ 割棒式 建築用ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト ねじの呼び ・図示による () 10 デッキプレート (6.8.3)(7.2.7)(7.7.8) 材質、形状及び寸法 (6.8.3)(7.2.7)(7.7.8) ・デッキプレート 単独の構法 ・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 ・床型特用 開口部補強要領 (補強筋の定長さ等を含む) ・図示による () 鉄骨部材への溶接方法 ・図示による () 耐火認定 ・有り 耐火時間 ・図示による () ・無し 11 スタッブ (8.1.5)(7.1.1) 材質、形状及び寸法 ※ 取付きスタッブ JIS B 1198 種類等 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22 12 柱底均しモルタル (8.2.11) モルタルの種類 [8.2.11] B種 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合 材料、調合等 ※ 改修標準仕様書8.2.11による 監督職員による原寸検査 (8.1.6) ○行わない ・ 行う 既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う	14 製作精度 (8.12.2) ※ 改修標準仕様書8.12.2による 通しダイヤフラムの許容誤差 ・ダイヤフラムをH12報告書1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・「突合わせ溶接の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による ・全てのダイヤフラムはH12報告書1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること 15 鉄骨の仮組 (8.12.9) ・行わない ・ 行う 仮組を行う範囲 ・図示による () 確認方法、確認項目 ・図示による () 16 溶接技能者の技量 (8.14.3) 試験の要領 [8.14.3] 付加試験 ・図示による () 開先の形状 [8.14.4][8.14.7] ・図示による () スカラップの形状 ・図示による () エンドタブの切除する部分 ・見え掛り部となる部分 ・図示による () ・見え隠れ部となる部分 ・図示による () ・切除する部分無し 溶接部の余盛り高さ ○JASS6 付則6 「鉄骨精度検査基準」 付表3 [溶接] による 18 入熱、バス間温度の溶接条件 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・図示による () 適用箇所 ・図示による () ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 19 溶接部の試験 (8.14.11) 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※ 全数 ・工事現場溶接の場合 ※ 全数 突合せ継手の食い違い仕口のずれ検査 「突合せ継手の食い違い仕口のずれ検査・補強マニュアル」による ・抜き取り検査① ※ 抜き取り検査② 20 錆止め塗装 (8.16.3) 塗料の種類 [8.16.3] ○鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ※ 改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 A種 屋内 ※ 改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 () 種 ・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.2 () 種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ※ 改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 A種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・行わない ・行う 適用箇所 ・図示による () 塗料の種類 ・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.1 () 種 ・改修標準仕様書7.3.2 表7.3.2 () 種 21 耐火被覆材 (8.17.2~8.17.7) 種類 [8.17.2~8.17.7] 種類 種類 材料・工法 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ ・耐火板張り ・ 繊維混入付いたカルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・ 高耐熱ロックウール ・ ・ 5x張り鉄線張り ・ 材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。 性能 適用箇所 (部位・部分) ・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火 22 建方精度 (7.10.2) ※ JASS6 付則6 「鉄骨精度基準」 付表 [工事現場] による (7.10.2) 23 アンカーボルト等の設置 (7.10.3) 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3) ・図示による () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 ※ 標準仕様書 表7.10.2 (※ A種 [厚さ50] ・ B種 [厚さ30]) による 24 形状量綱構造 (7.11.2) 接合部 (ボルト接合の場合) ・ 普通ボルト接合 種類等 (7.12.3) 亜鉛めっきの種類 材料 適用箇所 (部位・部分) A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板
	6 機械式継手 (5.3.5) 使用箇所 ・図示による () H12報告書1463号に適合する性能 (5.5.2) ・A級 機械式継手の種類及び工法 () (5.5.2) 鉄筋相互のあき (5.3.5) ○図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1) 品質の確認方法 (5.5.2) ・図示による () 不良となった継手の修正方法等 (5.5.2) ・図示による () 7 溶接継手 (5.3.5) 使用箇所 ・図示による () H12報告書1463号に適合する性能 (5.5.3) ・A級 鉄筋相互のあき (5.3.5) ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1) 継手の工法 (5.5.3) ・図示による () 品質の確認方法 (5.5.3) ・図示による () 不良となった継手の修正方法等 (5.5.3) ・図示による () 8 各部配筋 (5.3.7) 各部配筋 (5.3.7) ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)) 9 圧接完了後の試験 (5.4.9)(5.4.10) 外観試験 (5.4.9)(5.4.10) ※行う (全数) 採取試験 (5.4.9)(5.4.10) ※超音波探傷試験 ・引張試験 試験ロット：1組の作業道が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする			

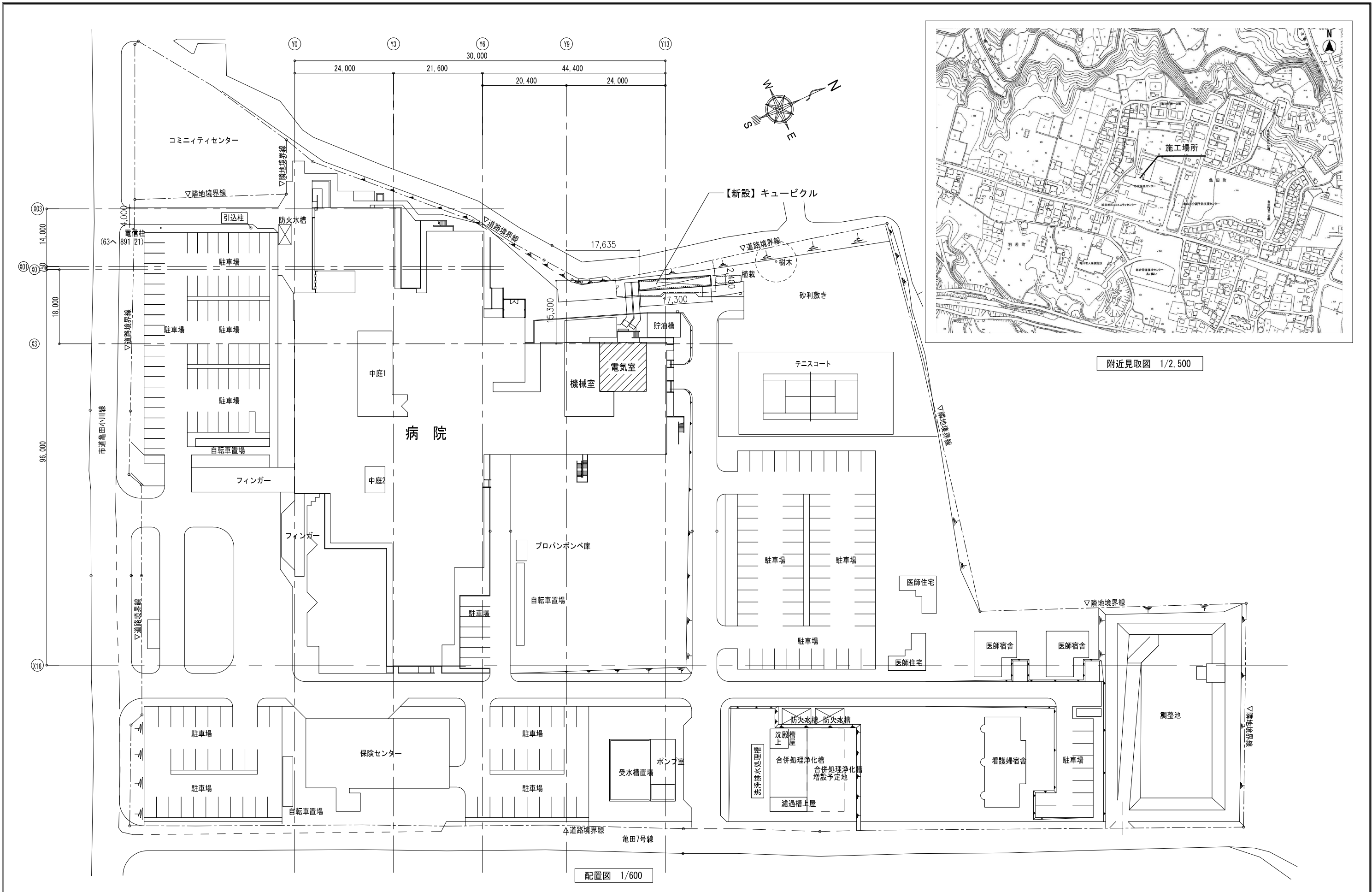
亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		医療センター受変電設備改修工事	建築改修工事特記仕様書 2	A2: -	A-03

27 穿孔前の埋込み 配管等の検査 28 施工確認試験	<あと施工アンカー> ② あと施工アンカー [8.2.4]	材料等 ・ 金属系アンカー ・ 引張耐力 () ・ せん断耐力 () セット方式 ※ 本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による () アンカー本体の径及び埋込み深さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による () ○ 接着系アンカー ・ 引張耐力 () ・ せん断耐力 () セット方式 ※ カプセル型回転・打撃式 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 アンカー筋の種類 ・ 改修標準仕様書 表8.2.1の異形棒鋼 アンカー筋の径及び埋込み深さ ・ 図示による () アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示による () ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ()																			
	<グラウト> ③ モルタル及び グラウト材 [8.2.6][8.2.11]	・ 構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書8.2.6による 圧縮強度 () フロー値 () ・ 改修標準仕様書8.2.11による ・ ○ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 <table border="1"> <tr> <td>混和材</td> <td>セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。</td> </tr> </table> 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 <table border="1"> <tr> <td>コンシステンシー</td> <td>Jフオートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒</td> </tr> <tr> <td>ブリージング</td> <td>練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下</td> </tr> <tr> <td>凝結時間</td> <td>凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内</td> </tr> <tr> <td>無収縮性</td> <td>材齢7日 収縮しない</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度</td> <td>材齢 3日 20.0N/mm² 材齢 28日 40.0N/mm²</td> </tr> <tr> <td>塩化物量</td> <td>0.30kg/m³以下</td> </tr> <tr> <td>試験方法</td> <td>1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</td> </tr> </table>	混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。	セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	コンシステンシー	Jフオートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒	ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下	凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内	無収縮性	材齢7日 収縮しない	圧縮強度	材齢 3日 20.0N/mm ² 材齢 28日 40.0N/mm ²	塩化物量	0.30kg/m ³ 以下	試験方法
混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。																				
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。																				
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。																				
コンシステンシー	Jフオートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒																				
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下																				
凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以内 終結時間 : 10時間以内																				
無収縮性	材齢7日 収縮しない																				
圧縮強度	材齢 3日 20.0N/mm ² 材齢 28日 40.0N/mm ²																				
塩化物量	0.30kg/m ³ 以下																				
試験方法	1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。																				

10	舗装工事
①	路床
②	路盤
③	アスファルト舗装
4	コンクリート舗装
9	砂利敷き

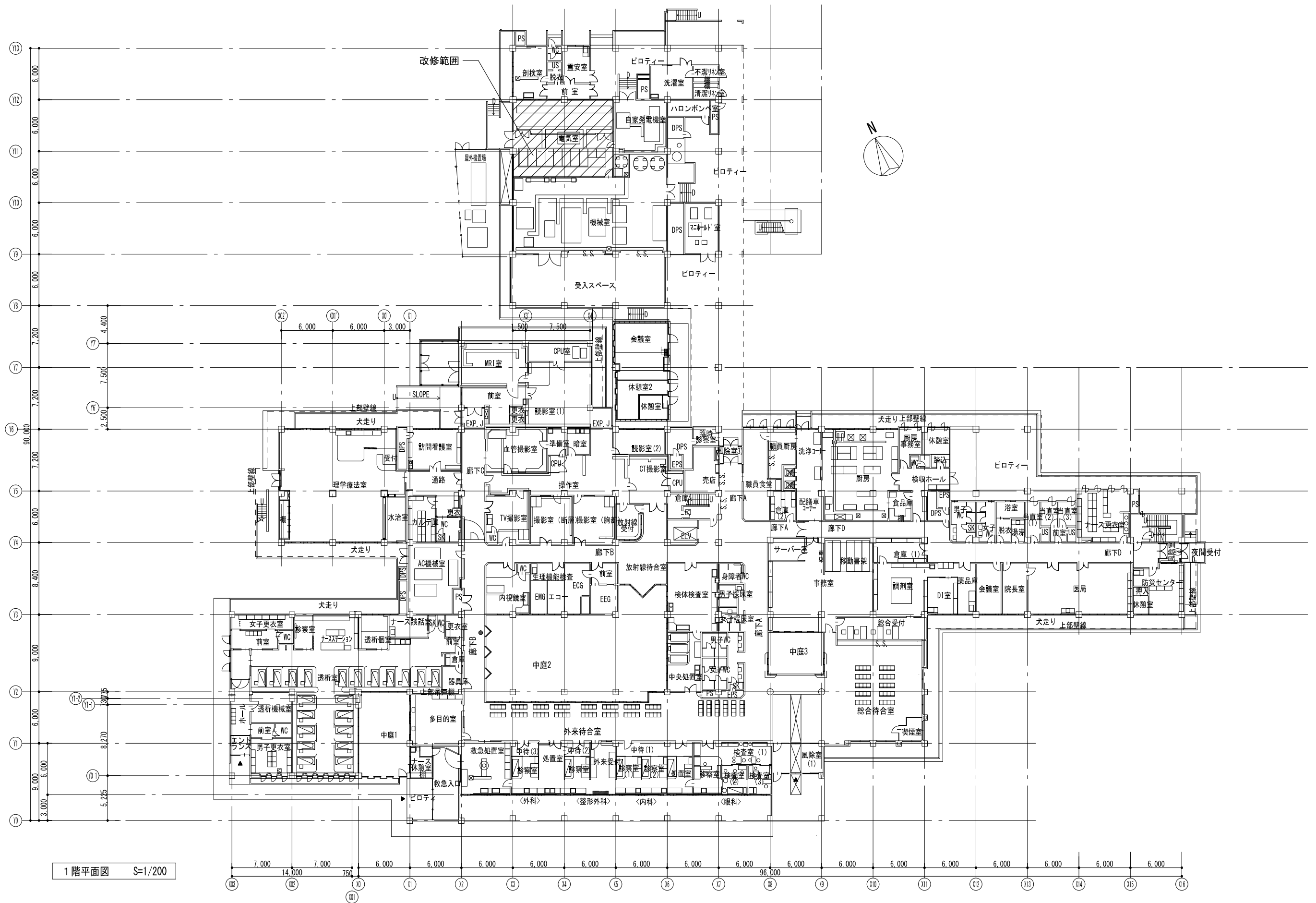
路床の材料 (22.2.2.3、5)(表22.2.2)		
種類	材料	
○ 連土	・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 ㊦	
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ㊧ ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	
路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () ・ 消石灰 () 添加量 kg (目標CBR ・ 5以上 ・) ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水性係数 ・ 1.5×10 ⁻¹ cm/sec以上		
試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない		
路盤の厚さ ○ 図示 路盤材料 ・ 砕石 ○ 再生クラッシュラン ㊧ ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ㊦ ・ ・ 図示		
試験 路盤締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない		
アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 (22.4.2~6)(表22.4.1.5)		
材料 アスファルト ○ 再生アスファルト ㊦ ・ ストレートアスファルト 骨材 ・ 道路用砕石 ・ アスファルトコンクリート再生骨材 ㊧ 加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.5)		
区分	地域	種類
表層	一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)
	寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13F)
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物(20)
シールコートの施工 ・ 行う ・ 行わない		
試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ○ 行わない 舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度		
コンクリート舗装の厚さ (22.5.2~4、6)(表22.5.4)		
舗装の種類	部位	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150
	歩道部	・ 図示 ・ 70
転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・ 150
縁部立下り寸法等 ・ 図示		
材料 コンクリート ・ 標準仕様書表22.5.2による 早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 転圧コンクリートの工法 ※ 図示		
目地 種類、間隔、構造 ※ 標準仕様書表22.5.4及び図22.5.11による ・ 図示		
試験 コンクリート厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない		
種類		(22.10.1)
・ A種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 通路 ・)		
・ B種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 建物周囲 ・)		(-)



亀山市

日付	備考

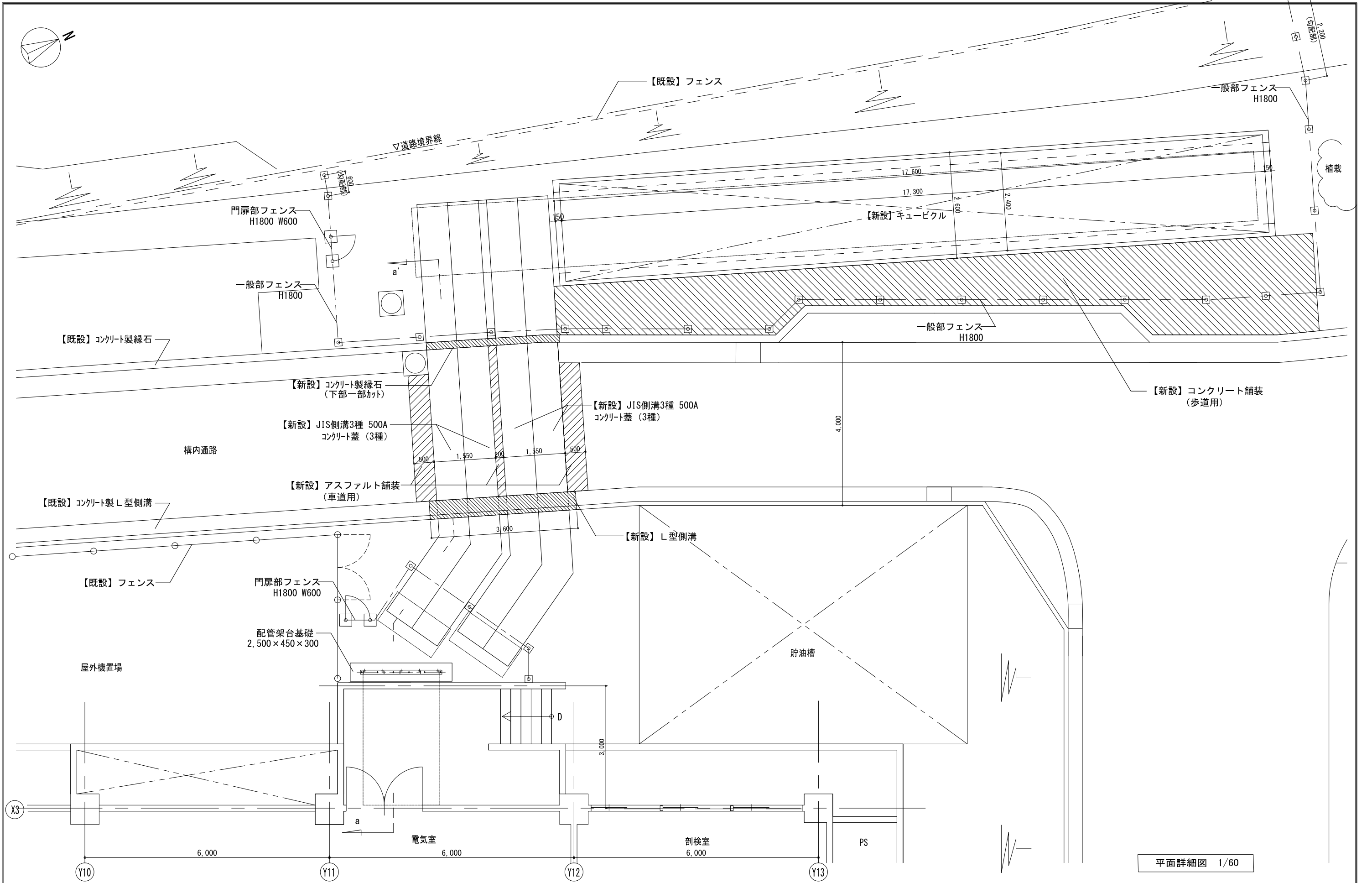
工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
医療センター受変電設備改修工事	附近見取図・配置図	A2: 図示	A-05



1階平面図 S=1/200

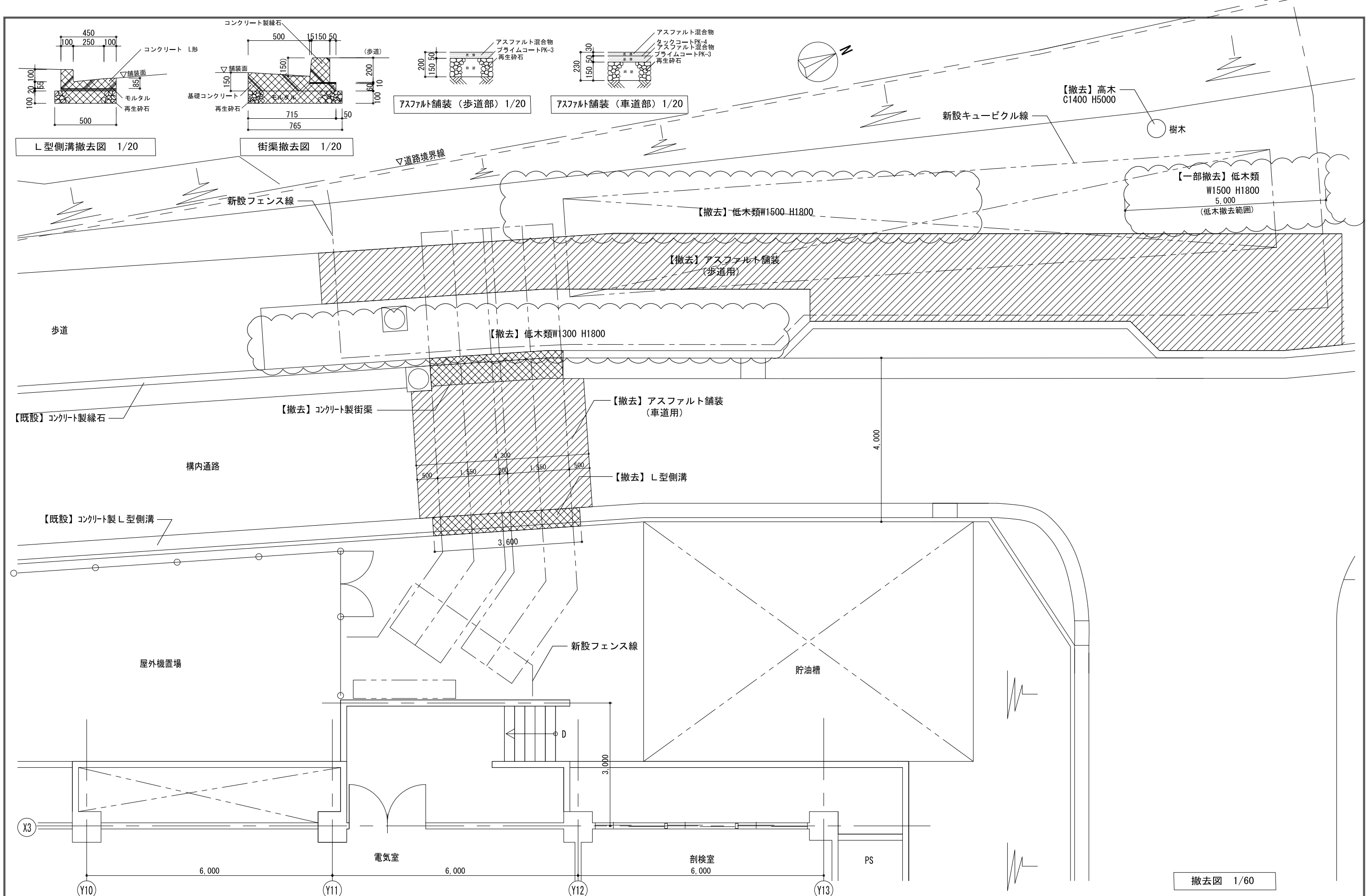
亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		医療センター受変電設備改修工事	1階平面図	A2 : 1/300	A-06

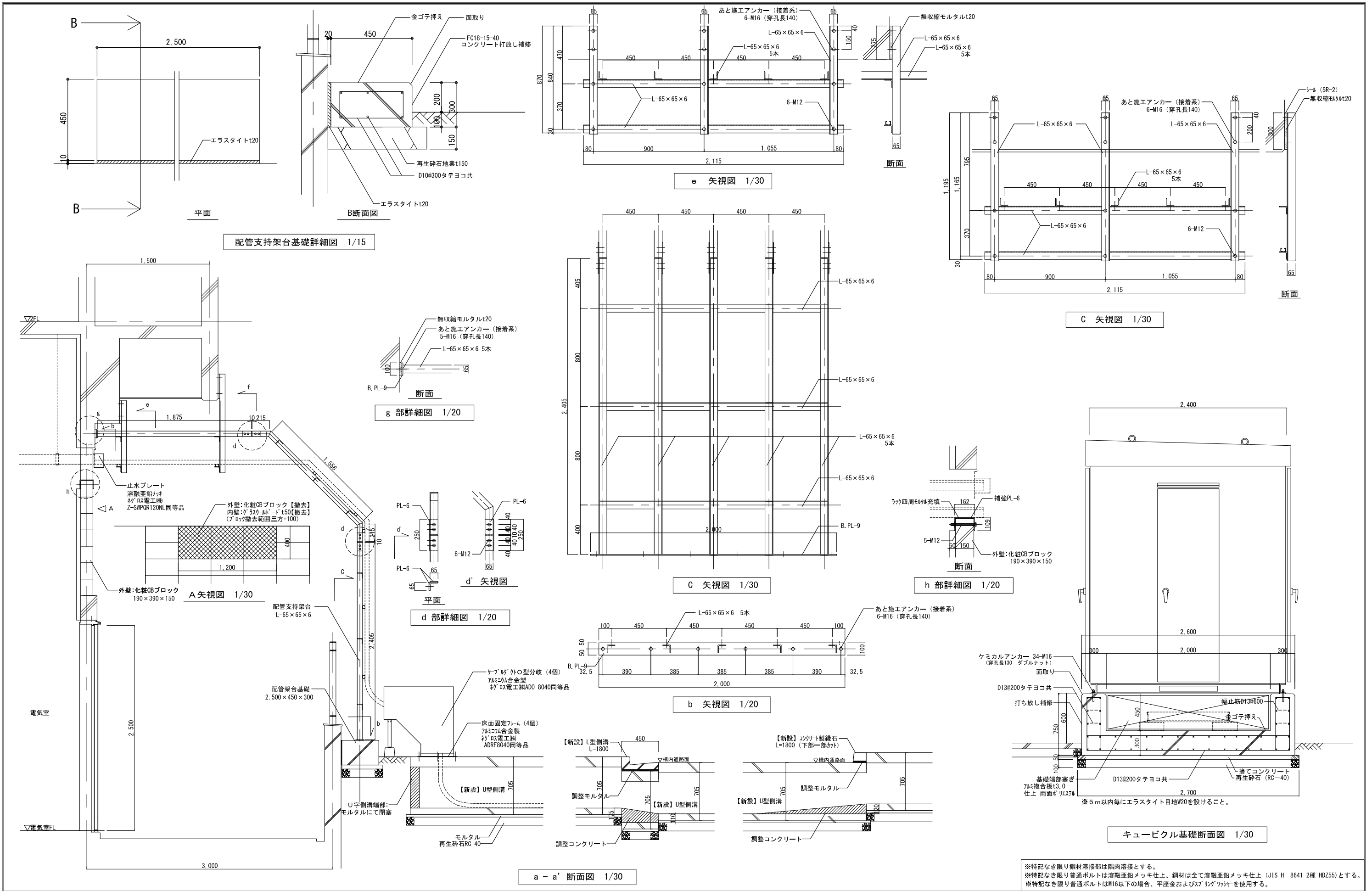


平面詳細図 1/60

<h1 style="margin: 0;">亀山市</h1>	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			医療センター受変電設備改修工事	平面詳細図 (改修)	A2 : 1/60	A-07



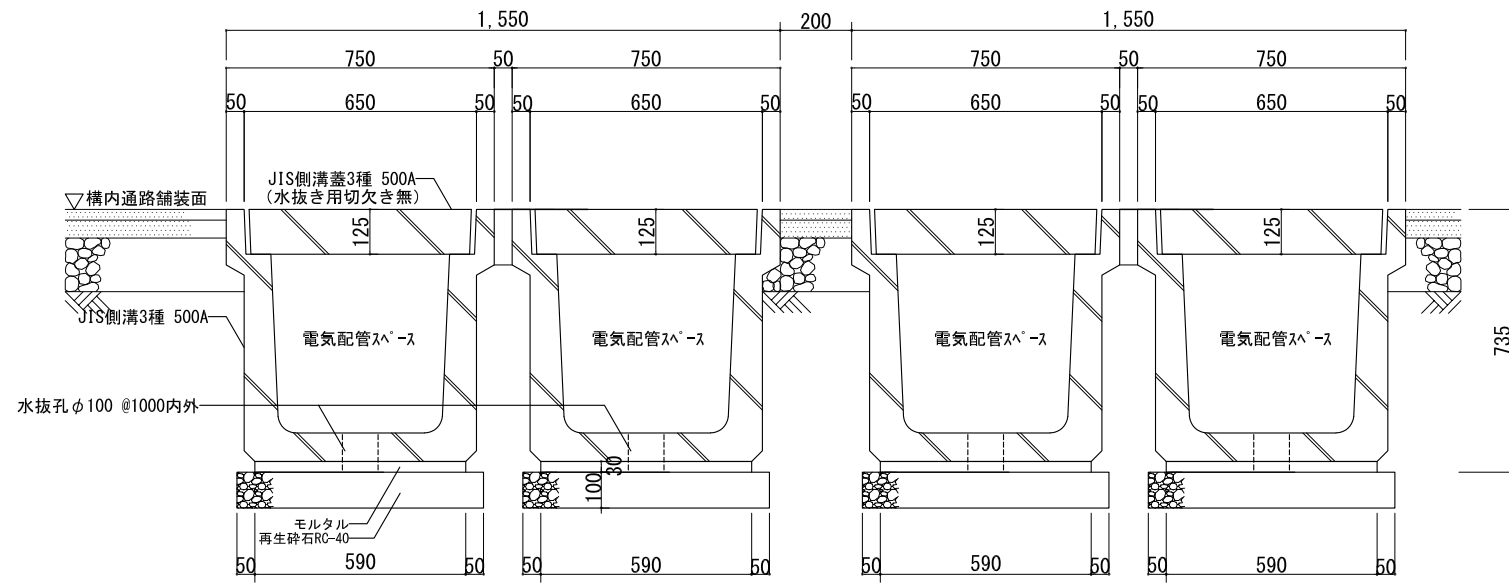
亀山市	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			医療センター受変電設備改修工事	平面詳細図 (撤去)	A2 : 図示	A-08



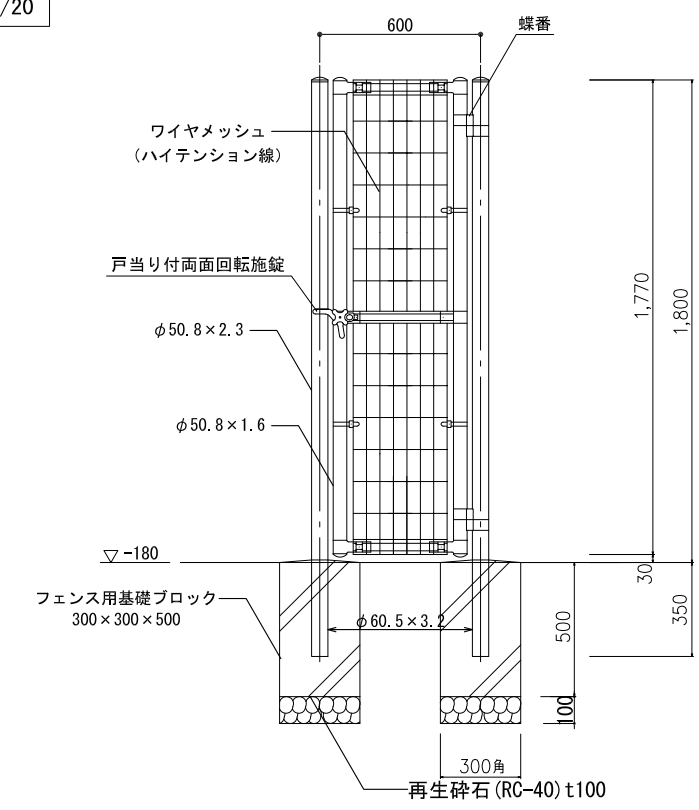
※特記なき限り鋼材溶接部は隅肉溶接とする。
 ※特記なき限り普通ボルトは溶融亜鉛メッキ仕上、鋼材は全て溶融亜鉛メッキ仕上 (JIS H 8641 2種 HDZ55)とする。
 ※特記なき限り普通ボルトはM16以下の場合、平座金およびスリットワッシャーを使用する。

<h1>亀山市</h1>	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			医療センター受変電設備改修工事	部分詳細図 1	A2 : 図示	A-09

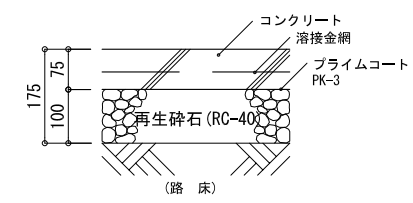
U字側溝 断面図 1/15



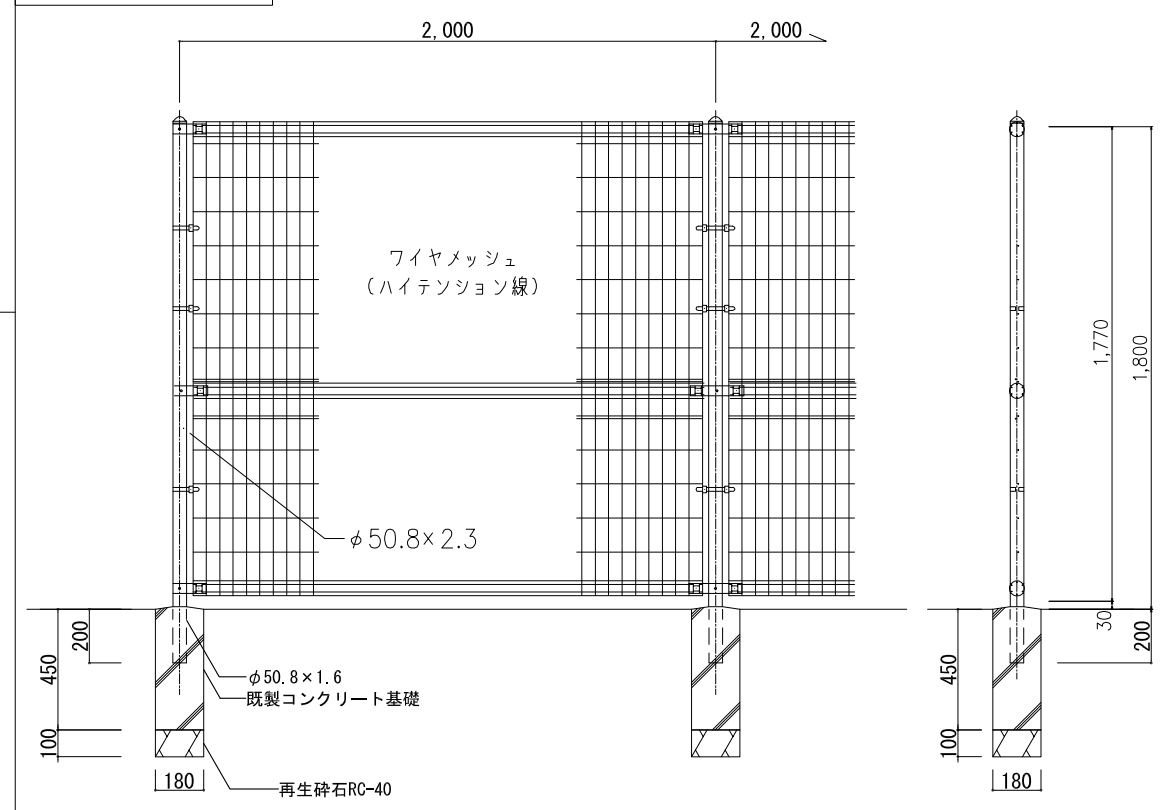
門扉部フェンス 1/20



コンクリート舗装 (歩道用) 1/10



一般部フェンス 1/20

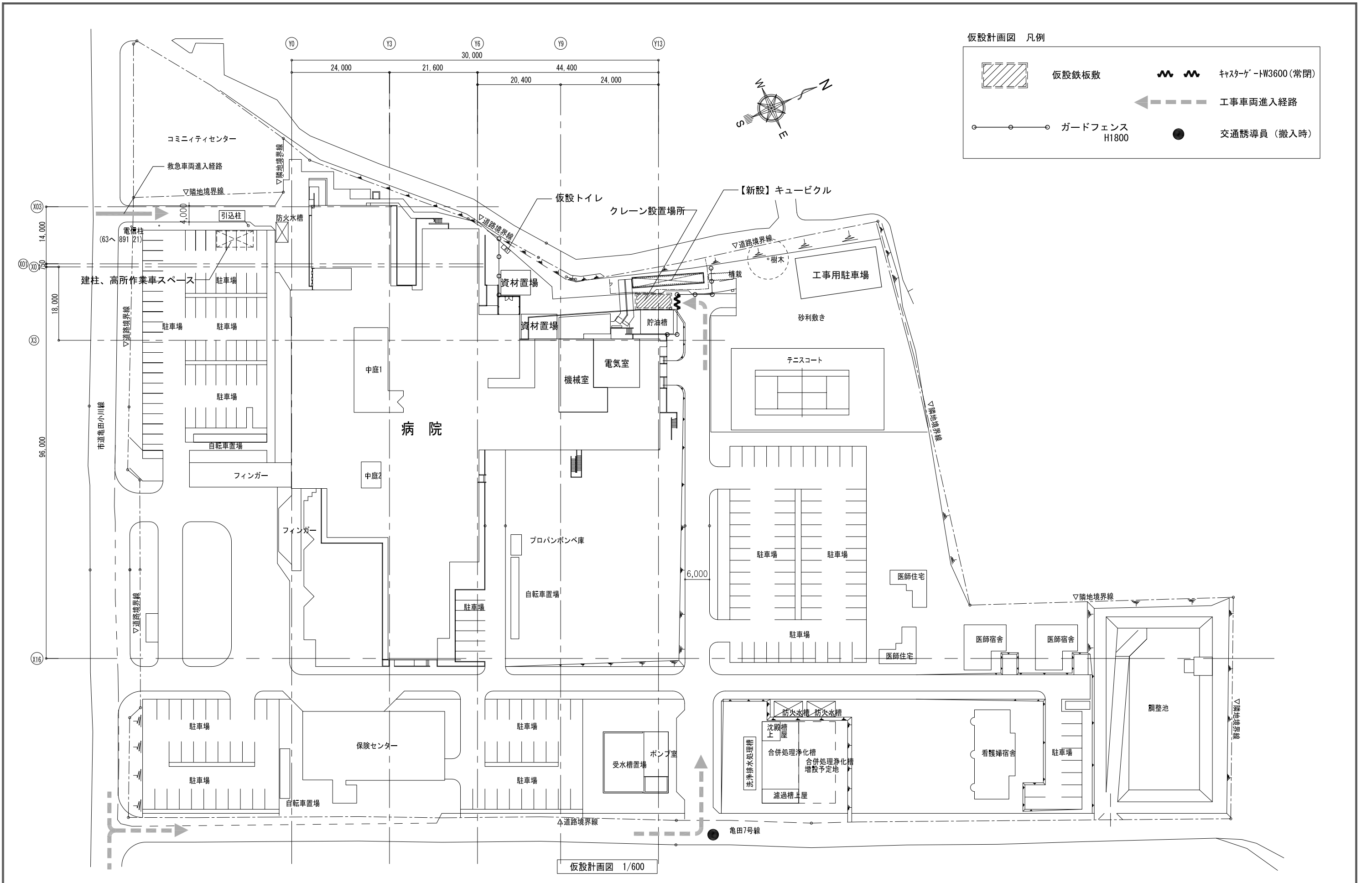


- 備考
- ・主柱、ジョイント、押え金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ・バンド・・・亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ・ワイヤメッシュ・・・亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ・U型金具・・・亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
 - ・ボルトナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

メッシュフェンスは、朝日スチール工業株UNフェンス50タイプ、または同等品とする。

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		医療センター受変電設備改修工事	部分詳細図 2	A2 : 図示	A-10



仮設計画図 凡例

	仮設鉄板敷		キャスターゲートW3600(常閉)
	工事車両進入経路		交通誘導員(搬入時)
	ガードフェンス H1800		

仮設計画図 1/600

亀山市

日付	備考

工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
医療センター受変電設備改修工事	仮設計画図	A2 : 1/600	A-11